

自動火災通報 メールシステム

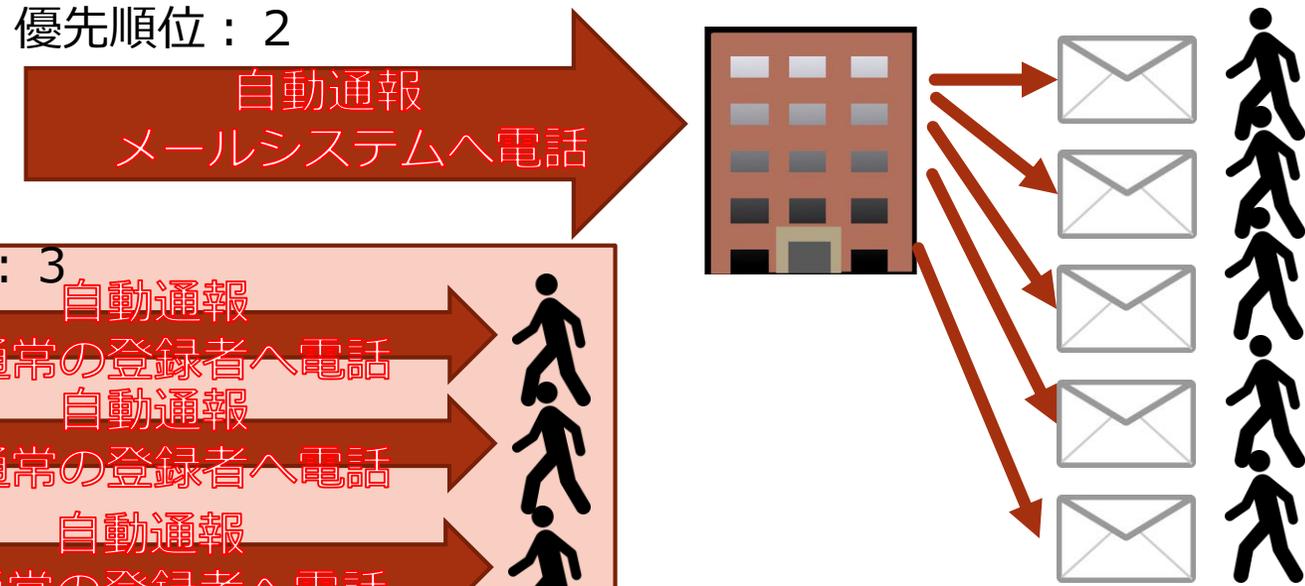
(株) 情報戦略研究所

自動火災通報メールシステムの特徴

- ▶ 現在の電話自動発信による自動火災通報装置そのまま、メールシステムへの電話発信を追加するだけで、導入可能。
(※設備変更必要無し)
- ▶ メールを送信先は20個まで可能。
- ▶ メールを送信先の設定は、ご利用者側でスマートフォンを使って簡単に設定が可能。
- ▶ 送信するメール内容（500文字以内）もスマートフォンで簡単に編集が可能。

動作説明

火災発生！！



自動火災通報装置側の変更

- ▶ 現在の自動火災通報機器に、
 - ① 1番目に119番（消防署）
 - ② **2番目に自動火災通報メールシステムへの電話番号**
※追加するのみ！
 - ③ 3番目以降は、今までの登録されている関係者へ電話番号のまま

ご利用者 設定画面

自動火災通報メールシステム管理

ご契約番号：
0263850515

施設名：

メッセージ：

Toメールアドレス：

Bccメールアドレス1：

Bccメールアドレス2：

Bccメールアドレス3：

Bccメールアドレス14：

Bccメールアドレス15：

Bccメールアドレス16：

Bccメールアドレス17：

Bccメールアドレス18：

Bccメールアドレス19：

Bccメールアドレス20：

設定変更した場合、設定を実行してから、メール送信テストを実施してください。

緊急メール例

件名

XXXXXXXXXXから緊急通報

本文

XXXXXXXXXXから緊急連絡あり。

【通報時間】年／月／日 時：分：秒

【メッセージ】 YYYYYYYYYYYYYYYYYYYY

自動火災通報メールシステム

[発行元] 株式会社情報戦略研究所

(c) 2017 ISL Corporation. All rights reserved.

※返信はできません

★ご利用者側で設定可能部

XXXXXXXX : 施設名 (50文字以内)

YYYYYYYY : メッセージ (500文字以内)

条件・制約

- ▶ 自動通報する電話番号は、**発信者番号通知設定**がされていること
- ▶ 1つの回線からは、1種類のメッセージしか送れない
※1つの回線から複数種類のメールを送信できない
- ▶ 自動火災通報メールシステムにダイヤル後、メールを送信するまで、**1分半から3分程度**かかる
- ▶ 各登録したメールアドレスでは、自動火災通報メールシステムからのメールが届くようにすること
※メールフィルタリングから除外する 等々
- ▶ 登録できるメールアドレスは、20個（追加オプション有）
- ▶ メール受信までの時間は、各登録した関係者のメール環境に影響されるため、**確約できず**
- ▶ 電話回線は、NTT東日本を利用するため、NTT東日本側で障害が発生した場合、本システムをご利用できない。**※自動通報側も同様である**

まずは、体験してみてください

- ▶ 無料で1週間の体験可能です
一般電話や携帯電話から自動メール通報システムに電話することで、動作が確認できます。
自動火災通報に触らずとも、体験が可能です。
※発信者番号通知設定がされていることが条件です。
※体験ですので、契約は別途となります。
- ▶ 体験に関するお問い合わせは、弊社お問い合わせページ
<https://isl.site-secure.jp/form/mailform.html>
から、お問い合わせください。